武蔵村山市立第一小学校

学校だより

令和8年10月30日

新たな試み、学習発表会

校長　押本 純樹

先日の運動会では、約1,200名という多数の御参観をいただきました。子供たちの頑張りに対しての大きな拍手は、一人一人の健やかな成長に繋がったと思います。私だけの感覚かもしれませんが、一小での１０回目の運動会に会場全体から例年以上の一体感を感じました。実施後のアンケートを読み返しても、素晴らしい運動会だという声が多々あり、うれしい限りです。改めて、皆様方の御理解と御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

ただ、その一方で、近年の教育に関する諸事情から取り止めている学校もある、騎馬戦を始めとした団体競技や組体操、紅白リレー、徒競走の順位による得点化についての御意見がありました。好意的なものばかりでほっとしましたが、多様化する時代の流れの中、「当日の子供たちの姿こそが成果」だと、いつまでも胸を張り、踏ん張っていられるのかという思いも正直あります。

そういった背景の中で、昨年度学芸会は、さすがにこれまでどおりもう継続できないと最後にしました。昨今の学校を取り巻く教育環境は、様々な課題を抱え、新たな価値観の下、柔軟に変化していかざるを得ない状況にあります。いつまでもこれまでの伝統にこだわり続けると、多方面に大きな負担がかかります。働き手不足は大きな課題で、教員が疲弊していたら、日々の教育活動はままなりません。

これまで一年ごとに展覧会→音楽会→学芸会と行う三サイクルでしたが、今年度から１・４年生は作品展示、２・５年生は音楽発表、３・６年生は舞台表現として、毎年度それぞれの表現活動を発表する形にしました。今や学年全体で２０～３０分間の劇を創る時間を捻出するのが難しくなっています。そこで、他校の取組を参考にし、文化的行事を二学年ずつに分け、専科と担任で分担していく形にしました。これなら、今までと変わらず、卒業するまでに作品展示、音楽発表、舞台表現を二回ずつ経験でき、それぞれのねらいに迫れると思ったのです。

ただし、３・６年の舞台表現は、「必ずしも劇でなくてもよい。練習時間の中でできるものに取り組む」とし、照明や大道具などがありません。そのため、昨年度、学芸会でお子さまの劇を見た３・６年の保護者の方においては、物足りなさを感じるかもしれません。しかしながら、新しい枠組みの中で何ができるのか、本校の先生たちは頑張っています。そういった視点で学習発表会を見ていただき、その後、御感想や御意見をお聞かせていただけると幸いです。

ゼロカーボン動画
QRコード

※本文とは関係ありませんが、一中校区で作成したゼロカーボン動画のURLとQRコードです。まだ見ていない方は、ぜひ御覧ください。　https://www.youtube.com/watch?v=3-Do_fgsihc